

高校生の音楽 2

令和9年度 高等学校用教科書 音楽Ⅱ

27 教芸 (令和9教 内容解説資料)

コンセプト／特徴	2
新しい企画	4
歌唱／器楽	6
創作	7
西洋音楽の鑑賞	8
日本音楽史／日本の伝統音楽の鑑賞	9
世界の諸民族の音楽／ポピュラー音楽	10
音楽って何だろう？	11
二次元コードコンテンツ	12
掲載曲一覧	13
指導書・カトカトーン・教師用WEBコンテンツ	14
検討の観点別に見た特色	15



新しく生まれ変わりました！

「楽譜を読もう」新設！

▶ P.4

読譜力を身に付けるために、12の小曲を掲載。機械的に練習するのではなく、音楽的感性を養いながら取り組める、完成度の高いものを取りそろえました。ピアノ伴奏音源もあります。

和音に着目して《白鳥の湖》と《春の祭典》を聴き比べよう

▶ P.4

「バレエ音楽」を用いて比較鑑賞ができる教材を掲載。異なる時代に作曲された2つの音楽を、和音に着目し、旋律との関係やリズムに注目しながら聴き比べる体験を通して、実感を伴った鑑賞活動を行うことができます。

ギター×創作で限られた授業時数を有効活用

▶ P.5

ギター教材《Stand by Me》の学習と合わせて、ストローク奏法とアルペジオ奏法を習得しながら、コードを用いた伴奏づくりに取り組みます。器楽と創作を横断した学習指導が可能です。

学びが深まる歌唱教材を多数掲載！

▶ P.5

この教科書のために書き下ろした、同声三部合唱曲《シャボン玉》をはじめ、学びが深まる教材性の高い歌唱教材を多数掲載。イタリア古典歌曲の定番《Sebben, crudele》を教科書で初めて掲載。

「ギターで名曲を弾こう」新設！

▶ P.6

往年の名曲から、印象的な部分を抜粋して掲載。全曲演奏するのが難しい生徒でも、小さな達成感を積み重ねながら、ギターに親しみをもてるよう配慮しました。

箏、篠笛、三味線、三線の器楽教材を掲載！

▶ P.6

どの楽器も、すでに旋律を知っていて音を鳴らしながら探り弾きができる曲、楽器の魅力を味わえるやや難易度の高い曲を掲載。楽器に初めて触れる生徒でも、無理なく取り組めるようにしました。

創作「音楽家の仕事を体験しよう」新設！

▶ P.7

依頼文をもとに、音楽家になったつもりで創作に取り組みます。「音楽を選ぼう」「サウンド・シグナルをつくらう」「循環コードを使って音楽をつくらう」の3教材からスモール・ステップで学習を進められる構成になっています。

西洋音楽の鑑賞教材が充実！

▶ P.8

絵画から視覚的にアプローチする気軽に取り組めるものから、《月光》を用いて詳細に分析するようしっかり腰を据えて取り組むものまで、実態に応じて選択できる教材を用意しました。

声明、平家、地歌、義太夫節を体験！実感を伴う鑑賞学習

▶ P.9

実際に声を出す活動を通して、各種目の特徴を感じ取った後に、それを鑑賞する際の手がかりとして聴き深めることで、実感を伴いながら各種目の音楽の特徴を学ぶことができます。

世界の諸民族の音楽が充実！

▶ P.10

「世界のさまざまな音楽(21種)」「踊りと音楽(7種)」「音楽旅行記(カメルーン)」など、多様なアプローチで世界中の多彩な音楽を掲載しました。

二次元コードコンテンツが充実！

▶ P.12

原語歌詞の朗読・リズム読み、ピアノ伴奏はもちろん、器楽教材の範奏動画、世界の諸民族の音楽の動画資料、日本音楽の手本動画など、さまざまなコンテンツを充実させました。

教師用WEBコンテンツを新設！

▶ P.14

各教材のワークシートやテスト、参考動画・音源を集めたプレイリストへのリンクなど、学習を支援するコンテンツを用意しました。ウェブアプリケーション「カトカトーン」で使えるファイルもダウンロードできます。

『高校生の音楽』は、

「人生を豊かにする教科書」であることを
コンセプトに編集しています。

—— 他者と声を合わせて歌う

—— よりよい演奏をするために試行錯誤する

—— 音楽家になったつもりで要望に合わせて作品をつくる

—— 一つの作品を深く味わう

—— 世界のさまざまな音楽のあり方に触れる

これらの活動を通して

音楽の多様な価値を見いだすことで、
この教科書に出会った人それぞれの人生が、
少しでも豊かになるよう工夫しています。

特徴 1 教材性の高い定番曲を厳選
幅広いジャンルから教材性の高い定番曲を厳選して多数掲載しています。

特徴 2 各教材に学びのヒントを掲載
さまざまな視点から一つの作品にアプローチできるよう、各教材に学びのヒントを掲載しています。

例：《糸》

- 斉唱と合唱の響きの違いを感じ取り、それぞれの部分にふさわしい表現を工夫して歌おう。
- メロディーとコードの関係を理解して、それがどのような効果をもたらしているか考えて話し合い、表現を工夫しよう。
- 伴奏のリズムを工夫しながら、コード表 P.60 を参考にしてピアノやギターで弾き歌いをしよう。

(教科書 P.8)

特徴 3 スモール・ステップを意識
小さな達成感を積み重ねられるよう、スモール・ステップを意識した構成にしています。

例：箏

STEP① 音を出すことに慣れる **STEP② なじみのある曲で弾き歌いをする**

茶摘み (教科書 P.78)

STEP③ さまざまな奏法に触れる

虫の声 (教科書 P.79)

特徴 4 音楽の魅力や不思議に迫る「音楽って何だろう？」
音楽そのものの魅力や不思議に、さまざまな視点から迫るシリーズをさらに充実させました。

世界に耳を傾けよう サウンドスケープ 音楽って何だろう？ (教科書 P.6)

音楽って何だろう？ (人間と音楽の多様な関わり) (教科書 P.88-89)

社会へのメッセージ・ソング We Shall Overcome (教科書 P.88-89)

特徴 5 二次元コードコンテンツの充実
ピアノ伴奏、原語歌詞の朗読やリズム読み、器楽教材の範奏動画をはじめ、授業に役立つコンテンツをさらに充実させました。

原語歌詞の朗読 三味線の範奏動画 音楽旅行記の鑑賞動画

原語歌詞の朗読 (教科書 P.88-89)

三味線の範奏動画 (教科書 P.88-89)

音楽旅行記の鑑賞動画 (教科書 P.88-89)

『高校生の音楽』は、新しく生まれ変わりました!

1 「楽譜を読む」新設!

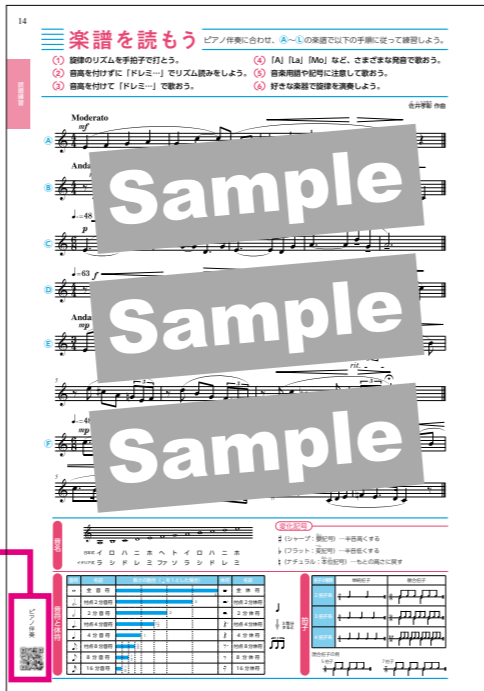
読譜力を身に付けるために、12の小曲を掲載しました。
機械的に練習するのではなく、音楽的感性を養いながら取り組める、完成度の高いものを取りそろえました。
それぞれ拍子、速度、調、強弱、曲調などが異なるため、表現を工夫しながら読譜力を身に付けることができます。

小・中学校で既習の歌唱教材は
読譜練習用の教材として掲載



(教科書 P.16)

豊かな表現を
促すピアノ伴奏
音源を収録



(教科書 P.14)

2 和音に着目して《白鳥の湖》と《春の祭典》を聴き比べよう

「バレエ音楽」を用いて比較鑑賞ができる教材を掲載しました。
異なる時代に作曲された2つの音楽を、和音に着目し、旋律との関係やリズムに注目しながら聴き比べる体験を通して、実感を伴った鑑賞活動を行うことができます。



(教科書 P.112-113)

キーボードなどを用いて和音の特徴を確認する活動

手拍子でリズムの特徴を確認する活動

3 ギター×創作で限られた授業時数を有効活用

ギター教材《Stand by Me》の学習と合わせて、ストローク奏法とアルペジオ奏法を習得しながら、コードを用いた伴奏づくりに取り組みます。
構成をしっかりと検討しながら学習を進めることも、即興的に演奏に取り組むこともでき、生徒の実態に応じて柔軟に学習を進められます。

楽器と創作の活動を横断的に構成できるため、限られた
授業時数でも相乗効果が生まれ、学びが深まります!

《Stand by Me》を弾き歌いの教材として新設!

- ▼この一曲を用いたさまざまな学習展開例
- 循環コードを用いた伴奏で弾き歌い
- 創作教材として伴奏をアレンジしながら弾き歌い
- ベースラインを加えてアンサンブル



(教科書 P.63)



(教科書 P.62)

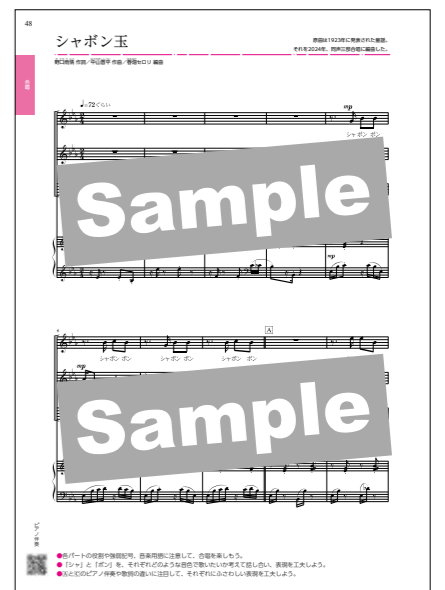
4 学びが深まる歌唱教材! 童謡《シャボン玉》を同声三部合唱に編曲!

この教科書のために書き下ろした、同声三部合唱曲《シャボン玉》を掲載。
広く親しまれている童謡を、春畑セロリが編曲したもので、場面ごとに音楽表現を工夫しながら学習を進めることができます。
各パートの掛け合いのおもしろさやハーモニーの美しさ、曲想の変化を味わいながら歌唱表現を深めることのできる楽曲です。
その他の歌唱教材も、幅広いジャンルから教材性の高い楽曲を厳選して掲載しています。

イタリア古典歌曲の定番
《Sebben, crudele》を教科書で初めて掲載!



(教科書 P.32)



(教科書 P.48)

歌唱

さまざまなジャンルから教材性の高い定番曲を厳選。外国語の歌については、多様な実態に対応できるように、スモール・ステップを意識し、民謡や童謡などから本格的な歌曲まで難易度の異なる多数の教材を掲載しています。

日本語の歌

ポピュラー・ソング

- 《糸》 《何度でも》
- 《空に星が綺麗》 《風をあつめて》

合唱曲

- 《夏は来ぬ》 小山作之助
- 《シャボン玉》 中山晋平
- 《いざ起て戦人よ》 J. マクグラナハン



歌曲

- 《待ちぼうけ》 山田耕筰 《荒城の月》 滝 廉太郎 《からたちの花》 山田耕筰 《かっぱ》 三善 晃
- 《浜辺の歌》 成田為三 《椰子の実》 大中寅二 《いぬ》 中田喜直 《明日ハ晴レカナ、曇リカナ》 武満 徹

小・中学校で既習の歌唱教材は読譜練習用の教材として掲載

英語の歌

- 《We Shall Overcome》
- 《Amazing Grace》
- 《Moon River》 H. マンシーニ
- 《Fly Me to the Moon》 B. ハワード
- 《California Dreamin'》 J. フィリップス、M. フィリップス

イタリア語の歌

- 《Nel cor più non mi sento》 G. パイジエツロ
- 《Sebben, crudele》 A. カルダーラ
- 《Piacer d'amor》 J-P-G. マルティエーニ

ドイツ語の歌

- 《Der Abendstern》 R. シューマン
- 《Frühlingsbotschaft》 R. シューマン
- 《Ich liebe dich》 E. グリーグ

フランス語の歌

- 《Les feuilles mortes》 (枯葉) J. コズマ
- 《Lydia》 G. フォーレ

器楽

さまざまな楽器を扱い、教材性の高い定番曲を厳選して掲載。

ギター

- 《Happy Birthday to You》 P.S. ヒル、M.J. ヒル
- 《Hedwig's Theme》 (ヘドウィグのテーマ) J. ウィリアムズ
- 《Andantino》 F. カルリ
- 《Stand by Me》 B.E. キング、J. リーバー、M. ストローラー

手拍子

- 《クラッピング・カルテット第2番》 長谷部匡俊

リコーダー

- 《Down by the Salley Gardens》 アイルランド民謡
- 《ピタゴラスイッチ オープニングテーマ》 栗原正己

合奏

- 《Take Five》 P. デズモンド
- 《とげとげタルめいろ》 D. ワイス

箏

- 《糸しらべ》
- 《茶摘み》
- 《虫の声》

篠笛

- 《かごめ かごめ》
- 《秋の宵》

三味線

- 《ほたるこい》
- 《通りゃんせ》

三線

- 《島唄》
- 《花～すべての人の心に花を～》

創作

依頼文をもとに、音楽家になったつもりで創作に取り組む課題を掲載しました。知識や技能を必要としない課題から始めるので、スモール・ステップで学習を進めることができます。

音楽家の仕事を体験しよう

既存の音楽の中から依頼内容にふさわしい音楽を選ぶ

音楽を選ぶ

- 依頼文を読んでその内容を理解し、どのような音楽がふさわしいか考えよう。
- CDやインターネットなどを活用して、要望に合った音楽を選び、下の例を参考にその推薦文を書こう。

<p>依頼文</p> <p>歯科医院の待合室で流す音楽を探しています。診察を待っている患者さんを安心させるような音楽を希望します。</p>	<p>推薦文</p> <p>【例2】「波の音とカモメの鳴き声」はいかがですか。ゆったりと流れては返す波の音と、ときおり聞こえてくるカモメの鳴き声が心を落ち着かせ、そこが歯科医院であるということを忘れさせてくれます。</p>
<p>依頼文</p> <p>【例1】J.S.バッハ作曲の《無伴奏チェロ組曲第1番》をお薦めします。チェロの柔らかい音色が不安を和らげてくれます。さまざまな性格の曲が組み合わされているので、退屈することはありません。</p>	<p>推薦文</p> <p>【例3】中南米で生まれた音楽ジャンル「ボサ・ノヴァ」の曲がよいと思います。ボサ・ノヴァ特有の心地よいリズムと、声を強らずにささやくような歌声が、気持ちを軽くしてくれます。</p>

音楽的な感性を働かせ、要望に合った音楽を選びます。知識や技能に頼らなくても、誰もが取り組むことのできる課題です。

(教科書 P.72)

短い音楽をつくる

サウンド・シグナルをつくろう

音による合図やメッセージを伝えるための短い音楽を「サウンド・シグナル」と呼ぶ。サウンド・シグナルには、短時間で強く印象に残るよう、さまざまな工夫がなされている。

- 依頼文を読んでその内容を理解し、次の工夫のヒントを参考に、どのようなサウンド・シグナルがふさわしいか考えよう。
 - 拍子、速度、リズムを工夫する
 - 音域を工夫する
 - 音階を工夫する
 - 楽器やさまざまな音楽材を用いる
 - 内容を伝える言葉にメロディーを付ける
- つくったサウンド・シグナルを五線に記し、工夫した点に触れながらPR文を書こう。

<p>依頼文</p> <p>レモン味の炭酸飲料「あわあわレモン」のサウンド・シグナルをつくってください。爽やかなイメージで、若者男女さまざまなターゲットの印象に残るものをお願いします。</p>	<p>例1</p> <p>あわあわレモン</p> <p>【モ】を1音にまとめ、言葉の抑揚に合わせたメロディーを付けました。最後は、ピアノの高音域で Cadd9 のコードをアルペジオで鳴らし、爽やかな印象を残します。</p>	<p>例2</p> <p>あわあわレモンで さわやか</p> <p>【PR】印象に残るサウンド・シグナルになるよう沖縄音階を使用しました。跳ねる感じのリズムで楽しい雰囲気を出し、最後は炭酸飲料の容器を開けたときの音楽材を加えました。</p>
---	--	---

(教科書 P.73)

循環コードを使って一曲仕上げる

循環コードを使って音楽をつくろう

特定のパターンを繰り返すコード進行を「循環コード」と呼ぶ。循環コードを使うことにより音楽に一貫性が生まれ、聴く人に安心感や心地よさを感じさせることができる。

- 下の依頼文の中から1つ選ぼう。

<p>依頼文 A (例 ①)</p> <p>高校生3人で、自分たちの住む町の魅力を伝えるラジオ番組を始めます。3人で会話をするとき流す BGM をつくってほしいです。次のイメージでお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話の邪魔にならないように ・おしゃれなイメージ ・うきうきする感じも少し欲しい 	<p>依頼文 B (例 ②)</p> <p>最近、寝るときに考え事をしてしまい、うまく寝付ません。就寝前に流す音楽をつくってください。次のイメージでお願いします。</p>	<p>次のポイントを確認し、要望に合う音楽のイメージを膨らませ、全体の構成を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① どんな雰囲気? (どんな曲調?) (どの楽器?) (どんなリズム?) ② キーボードなどで音を出しながら、イメージに合うコード進行を次のの中から1つ選ぼう。 ③ 選んだコード進行のもとに、次のポイントを参考に、コードを担任するパートをつくらう。 ④ でつくったパートを土台に、次のポイントを参考に、メロディーを担当するパートをつくらう。
--	--	---

(教科書 P.74)

作曲する際のヒントを、スモール・ステップを意識して提示しています。

その他の創作

ギター伴奏をアレンジして雰囲気の違いを楽しもう (教科書 P.62)

指導書

セット内容 定価未定

研究資料編

授業の流れの例や、指導のヒントなど、授業を多角的にサポートする資料を充実させています。各教材の詳しい解説はもちろん、西洋音楽史や日本音楽史の基礎知識の確認に最適な資料も収録しています。

楽譜資料編

歌唱教材の伴奏譜の他、簡易伴奏譜や移調譜、別の編曲なども取り上げ、学校の実態に対応できるよう配慮しています。また、教科書の教材に関連した参考曲や、鑑賞教材の楽譜も掲載しています。

指導用・鑑賞用CD

歌唱・器楽教材の範奏、外国語歌曲の原語歌詞の朗読、ピアノ伴奏、鑑賞教材の音源を収録しています。

付録 CD-ROM

- 各教材のワークシート (Word・PDF)
- 各教材のレポート (Word・PDF)
- 各教材のテスト (Word・PDF)
- カトカトーンのサンプルファイル (ktk)
- 教科書掲載曲の動画や音源を集めた YouTube プレイリストへのリンク
- シラバスの例 (Word)
- 年間指導計画例・評価規準例 (Excel)
- 教科書紙面テキスト (抜粋)

授業準備や授業の中でご利用いただけるデータを収録しています。

カトカトーン

こちらから、詳しい説明をご覧ください。



高音質なサウンドによる音楽制作ができる、無料のウェブアプリケーションを開発しました。制作した音楽を保存して学習支援ソフトウェアで共有することができます。個別最適な学びに対応した質の高い ICT 活用で、充実した創作活動を実現します。



楽しく感覚的に操作できる
初心者でも分かりやすい設計

視覚的に分かりやすく
楽曲の構造を分解・分析

教師用 WEB コンテンツ

サンプルサイト公開中



付録 CD-ROM に収録されているデータの一部は、弊社ウェブサイト内の専用ページからもご利用いただけます。

※ここに掲載されている内容は変更になる場合があります。教師用 WEB コンテンツは採用校のみご利用いただけます。

検討の観点別に見た特色

	観点	教科書の特色
範囲	●取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	●幅広いジャンルから厳選された教材によって必要な内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
程度	●教材は、生徒の心身の発達段階や能力の実態に適応しているか。	●歌唱教材においては生徒の感性の発達段階に応じた楽曲を、器楽教材においては技術的に平易な楽曲を取り上げている。創作教材においては、生徒が取り組みやすい内容で、活動の手順を具体的に示している。また、鑑賞教材においては鑑賞のポイントを明確に示すなど、生徒の能力の実態に即した適切な内容になっている。
内容	●教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえて、基礎的・基本的な学力の定着について適切な配慮がなされているか。 ●説明文やイラスト、写真などは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、配慮や取り組みはなされているか。 ●我が国や郷土の伝統音楽及び音楽文化に対する配慮がなされているか。	●明確な学習の観点のもと、幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており、生徒が、自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することができるとともに、音楽の多様性を理解し、音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽のよさや美しさを深く味わい、音楽文化に親しむ態度を養うことができるよう配慮されている。 ●教材の内容は、三つの柱〔知識及び技能〕〔思考力、判断力、表現力等〕〔学びに向かう力、人間性等〕と相互に関連付けられており、さまざまな参考資料を収録して、基礎的・基本的な内容を学習できるよう工夫されている。また、鑑賞においては楽曲の構成や文化的・歴史的背景が分かりやすく解説されており、確実に学習活動が進められるよう配慮されている。 ●説明文は平易な言葉で書かれており、その配置も工夫されている。 ●イラストや写真の取り上げ方はアイデアにあふれ、音楽的な見方・考え方の育成や知的理解の深化に配慮されている。 ●教材には、表現する際のポイントや、音楽の背景にある社会や文化についての解説が設けられており、表現の工夫や音楽の理解を促すとともに、生徒の興味・関心を引き出し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて取り組めるよう工夫がなされている。 ●創作活動においては、小学校、中学校における「音楽づくり」「創作」の学習内容を踏まえて、時間的、能力的に無理なく取り組める教材が具体的な手順を示して取り上げられており、生徒の能力に応じて柔軟な指導を進められるよう配慮されている。 ●鑑賞活動においては、明確な鑑賞ポイントや資料を示し、音楽実践の活動も含めた多角的な視点から音楽の魅力に自ら気付けるよう工夫されている。 ●歌唱教材においては、古くから歌い継がれている曲を複数取り上げ、器楽教材においては楽器の奏法などについて唱歌を伴って分かりやすく解説している。また、鑑賞教材においては声明、平家、地歌、義太夫節を中心とした日本の伝統音楽や各地の民俗芸能などを取り上げており、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成できるよう配慮されている。
構成	●小学校、中学校における学習内容との系統性、一貫性について配慮されているか。 ●各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。 ●教材の配列は適切であるか。 ●教材の分量は適切であるか。	●小学校、中学校の義務教育における音楽科の目標を継承し、発展した内容の教科書となっている。 ●歌い継いでいきたい日本の歌が、小学校、中学校から一貫して取り上げられている。 ●芸術歌曲やクラシック音楽だけでなく、ポピュラー音楽や映画音楽、民族音楽などさまざまなジャンルの音楽を教材として取り上げており、学習の深化や相互の関連付けを容易に行うことができ、各学校や生徒の実態に応じた柔軟な学習指導計画を立てられるよう配慮されている。 ●教材が系統的・発展的に配列されており、確実に学習が進められるよう配慮されている。 ●領域や分野ごとに平易な曲を中心として教材が配列されており、学習の理解や深化を図りやすいよう配慮されている。 ●厳選された教材が過不足ない分量で扱われており、各学校や生徒の実態に応じて柔軟に対応できるよう配慮されている。
人権	●国際理解、情報、環境、人権教育などに配慮されているか。	●全体を通して、人権教育について適切に配慮されている。また、歌唱教材や鑑賞教材においても、諸外国の音楽文化に対する理解を深めることができるよう配慮されている。 ●音楽に関する著作権については、ケーススタディを交えながら分かりやすく解説されている。
体裁	●全体の体裁は教科書として適切であるか。 ●印刷・製本などは適切であるか。 ●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	●A4判で楽譜が見やすく、紙面のレイアウトも統一感があり、教科書として適切なものとなっている。 ●教科書の内容をイラストで表現した表紙からも高校生に向けてのメッセージが感じられるよう工夫されており、音楽に親しみやすい体裁となっている。 ●カラーページと2色ページに分かれたすっきりした紙面構成を採用しており、楽譜、文字、イラスト、写真などの印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。 ●製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境にも十分に配慮がなされている。 ●全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。
総合所見	多様な音楽文化についての理解を深め、音楽的感性を育むために適切な教材が厳選されている。確実に学習を進められるよう、系統的・発展的に教材が配置されている。主体的な学習活動を促すために、生徒が自ら体を動かして行う活動が随所に配置され、音楽の学びを深められるよう配慮されている。二次元コードによって、楽器の奏法や、外国語歌曲の歌詞の発音などを視聴することができ、自宅での予習や復習も効果的に行うことが可能となっている。	

『高校生の音楽 2』執筆者

〔監修・執筆〕

小原光一(元横浜国立大学教授)

久保田慶一(元東京学芸大学教授・元国立音楽大学副学長)

小沼純一(早稲田大学教授)

薦田治子(武蔵野音楽大学名誉教授)

〔執筆〕

今田匡彦(弘前大学教授)

上野大輔(東海大学・開成中学校講師)

太田暁子(東京音楽大学講師)

川本聡胤(ポピュラー音楽研究家)

近藤静乃(東京藝術大学講師)

佐井孝彰(作曲家)

鹿谷美緒子(作曲家)

島添貴美子(富山大学教授)

ドクターキャピタル(ポピュラー音楽研究家)

野川美穂子(日本音楽研究家)

長谷部匡俊(作曲家)

三宅悠太(作曲家)

矢野原佑史(京都大学アフリカ地域研究資料センター特任研究員)

早稲田みな子(国立音楽大学教授)

〔編集〕

教育芸術社編集部

〔デザイン〕

尾崎好佑

令和9年度版『高校生の音楽2』に関する詳細や、年間指導計画例などの関連資料は、教育芸術社ウェブサイトからご覧いただけます。



第1表

高等学校用教科書需要票

見本

発行者	番号	27	略称	教芸	需要数	生徒用	150	冊
	教科書	記号				音Ⅱ	番号	027-901
書名		高校生の音楽 2					計	152

所在地

学校名

電話

(全日制・定時制・通信制)

別売 映像資料 価格 各 19,800円(本体18,000円 + 税10%)

教科書に掲載されている「日本の伝統音楽」及び「世界の諸民族の音楽」の授業の参考となる資料を販売しています。

音楽鑑賞DVD

日本の伝統芸能編

- DVD 1枚/収録時間126分
- 雅楽、琵琶楽、能楽、文楽、歌舞伎から14演目(曲)を収録

高等学校音楽鑑賞DVD

民族編

- DVD 1枚/収録時間148分
- 38か国、59曲を収録
- 民族音楽研究家、江波戸昭先生の解説付き

音楽鑑賞Blu-ray Disc

世界の民族音楽

- Blu-ray 1枚/収録時間202分
- 49か国、86曲を収録
- 全ての映像について、各分野の研究者によるライナーノーツ付き



- 本社 〒171-0051 東京都豊島区長崎 1-12-14 TEL. 03-3957-1175 (代)
- 中部支社 〒460-0024 名古屋市中区正木 4-8-7 れんが橋ビル 8F TEL. 052-678-3151 (代)
- 関西支社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-14-17-601 TEL. 06-6943-7245 (代)
- 西部支社 〒751-0808 下関市一の宮本町 2-7-14 TEL. 083-256-4747 (代)

<https://www.kyogei.co.jp/>